

継続事業評価調書

【道路事業】

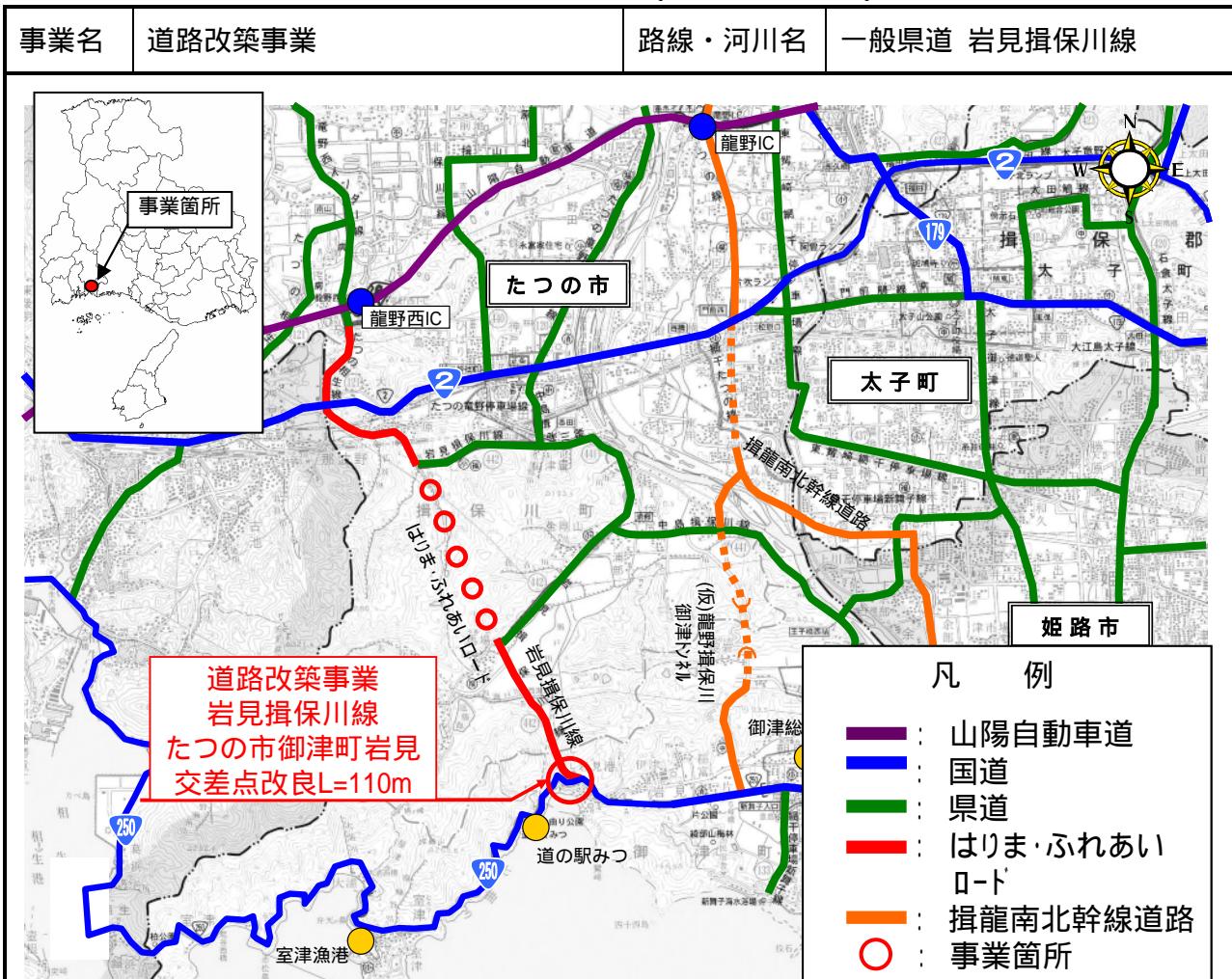
(一) 岩見揖保川線

土木局 道路街路課

投資事業評価調書（継続：再評価）

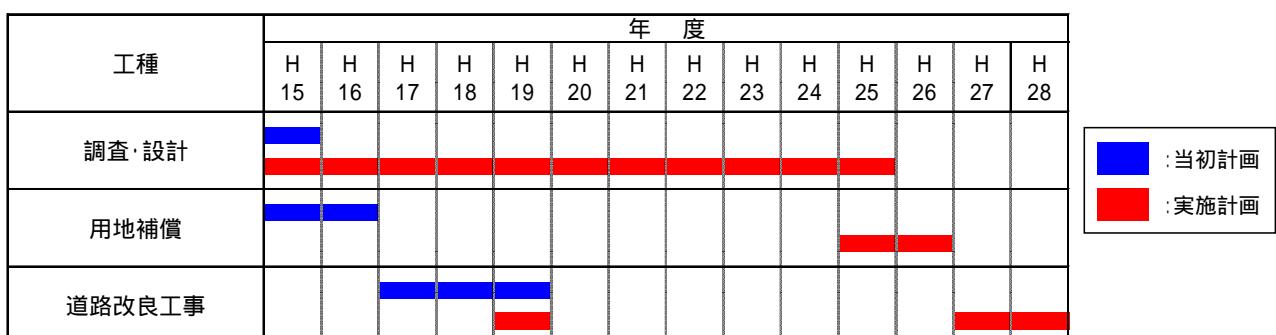
部課室名	国土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 大住道生 (課長補佐 上田英則)	内線	4362 (4376)
事業種目	道 路	新規評価年度 平成 14 年度		現計画	新規評価時点
事業名	道路改築事業 一般県道岩見揖保川線	事業採択年度 着工年度	平成 15 年度 平成 19 年度	総事業費 内用地補償費	2.1 億円 0.02 億円
					5.0 億円 0.5 億円
事業区間	みつちょういわみ たつの市御津町岩見			完成予定年度 進捗率	平成 28 年度 14% (内用補進捗率) -
所在地	みつちょういわみ たつの市御津町岩見			残事業費	1.8 億円 -
事業の目的	事業内容 () 新規評価時点				
<ul style="list-style-type: none"> 一般県道岩見揖保川線は、国道 250 号を起点に国道 2 号に至るたつの市南部の県道であり、山陽自動車道龍野西 IC と国道 250 号を結ぶ「はりま・ふれあいロード」の構成路線である。 このうち、起点の国道 250 号との交差点は、形状が悪く、対向車線にはみ出さないと曲がることができないため、交差点形状(交差角度)を改良し、通行車両の安全で円滑な通行を確保するとともに、臨海部の産業拠点や観光施設へのアクセスを強化する。 					
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> 事業着手時と比べ、自動車交通量は増加している。 H11 センサス 1,804 台/日 H21 年 2 月調査 2,780 台/日 (1.54 倍) 「道の駅みつ」が H22.2 月にオープンした他、宍津漁港では舟養殖に関連する施設の整備が進んでいる。 <p>【新規評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 岩掘削による振動に伴い近隣建物への影響が発生したため、当初計画で事業を実施するには、振動対策等を考慮した工法への変更により、大幅な事業費増が必要となる。 宍粟市やたつの市などを南北に結ぶ揖龍南北幹線道路のうち、現在、県・たつの市で国道 2 号と旧御津町中心部を結ぶ整備に取り組んでおり、この区間の完成によりたつの市中心部と臨海部を結ぶ交通の転換が見込まれる。 以上から、大型車(L=12m)が対向車線を使用せずに通行が可能であった従来の計画を、一般的な救急車両(L=6m)が通行可能な計画に見直すことにより、総事業費を 5.0 億円から 2.1 億円に縮減する。 事業計画の変更に伴う地元協議に時間を要したため、完成予定年度を H28 年度まで延伸する。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> H19 年度に工事着手したが、岩掘削による振動に伴い工事を中断した。 その後、交差点計画の見直しについて地元等と協議を進め、H24 年度に合意を得た。 H26 年度までに用地取得を終え、引き続き工事を実施し、H28 年度の完了予定である。 				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 本交差点は、乗用車でも対向車線にはみ出さないと曲がることができない危険な状況なため、交差点を改良する（過去 5 年間の事故件数は 4 件）。 宍津漁港や「道の駅みつ」など産業拠点・観光施設へのアクセスを強化する。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 周辺道路の整備状況等を踏まえ、一般的な救急車両が安全・円滑に通行することが可能となる交差点計画へ見直しを行った。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 法面については、在来種等による植生の復元を図り、周辺環境の保全に配慮する。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 安全で円滑な通行の確保のため、早期に事業を完了させる必要がある。 たつの市や地元住民からも早期整備を望む強い要望がある。 				
再評価の結果	継続	左の理由	<ul style="list-style-type: none"> 依然として本交差点は危険な状況であり、周辺道路の整備状況等を踏まえて事業計画の見直しを行ったこと、また、事業の早期完成を望む地域からの要望が強いことから、継続して事業を実施する必要がある。 		

事業進捗状況概要図（継続：再評価）



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体	H15~28 年度【事業費 = 2.1 億円】 延長 L=110m、幅員 W=6.0(7.5)m 工事：交差点改良 用地：約 1,360 m ²	
過去 10 年間	H15~24 年度【事業費 = 0.3 億円】 事業進捗率 14% (事業費ベース) 用地取得率 0 % (面積ベース)	
今後 4 年間	H25~28 年度【事業費 = 1.8 億円】 H26 年度 用地買収完了 H28 年度 完成	交差点改良により、安全で円滑な交通が確保される

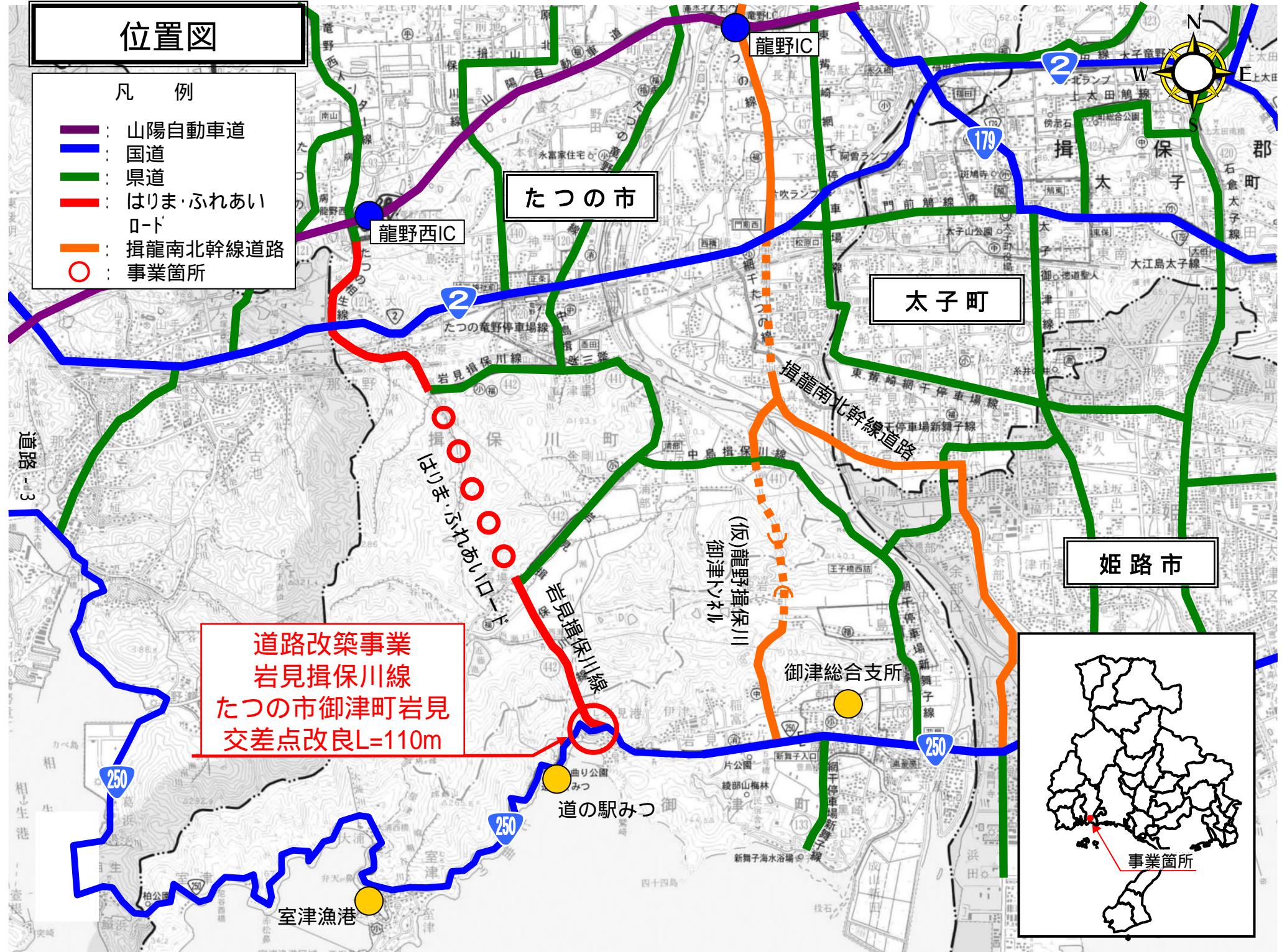
当初計画及び実施工程



位置図

凡例

- 山陽自動車道
 - 国道
 - 県道
 - はりま・ふれあい
ロード
 - 揖龍南北幹線道路
 - 事業箇所



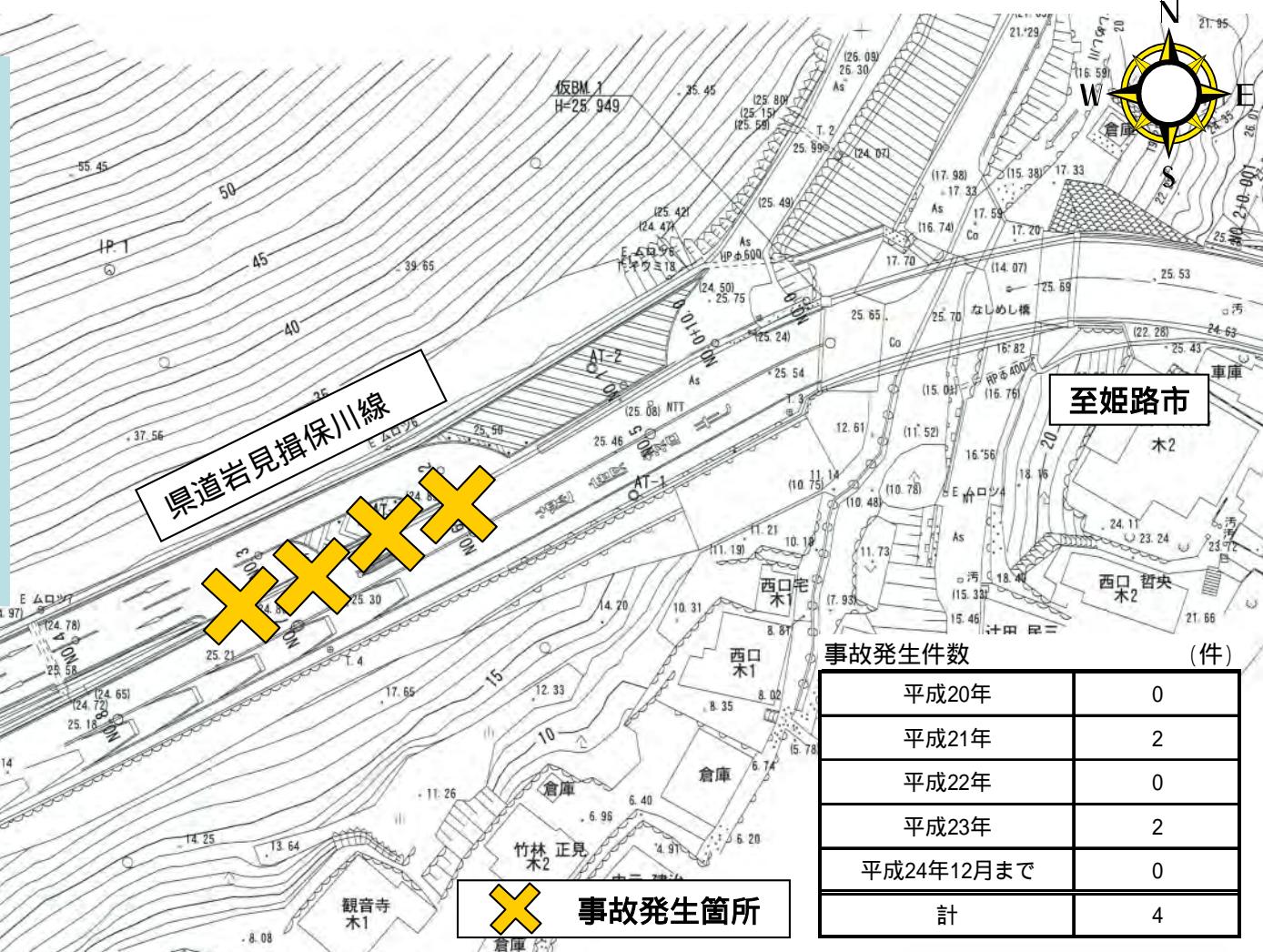
事業箇所周辺航空写真



現道の状況

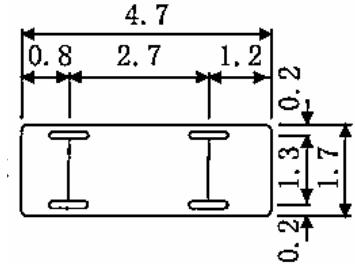


乗用車でも左折できない



平成20年	0
平成21年	2
平成22年	0
平成23年	2
平成24年12月まで	0
計	4

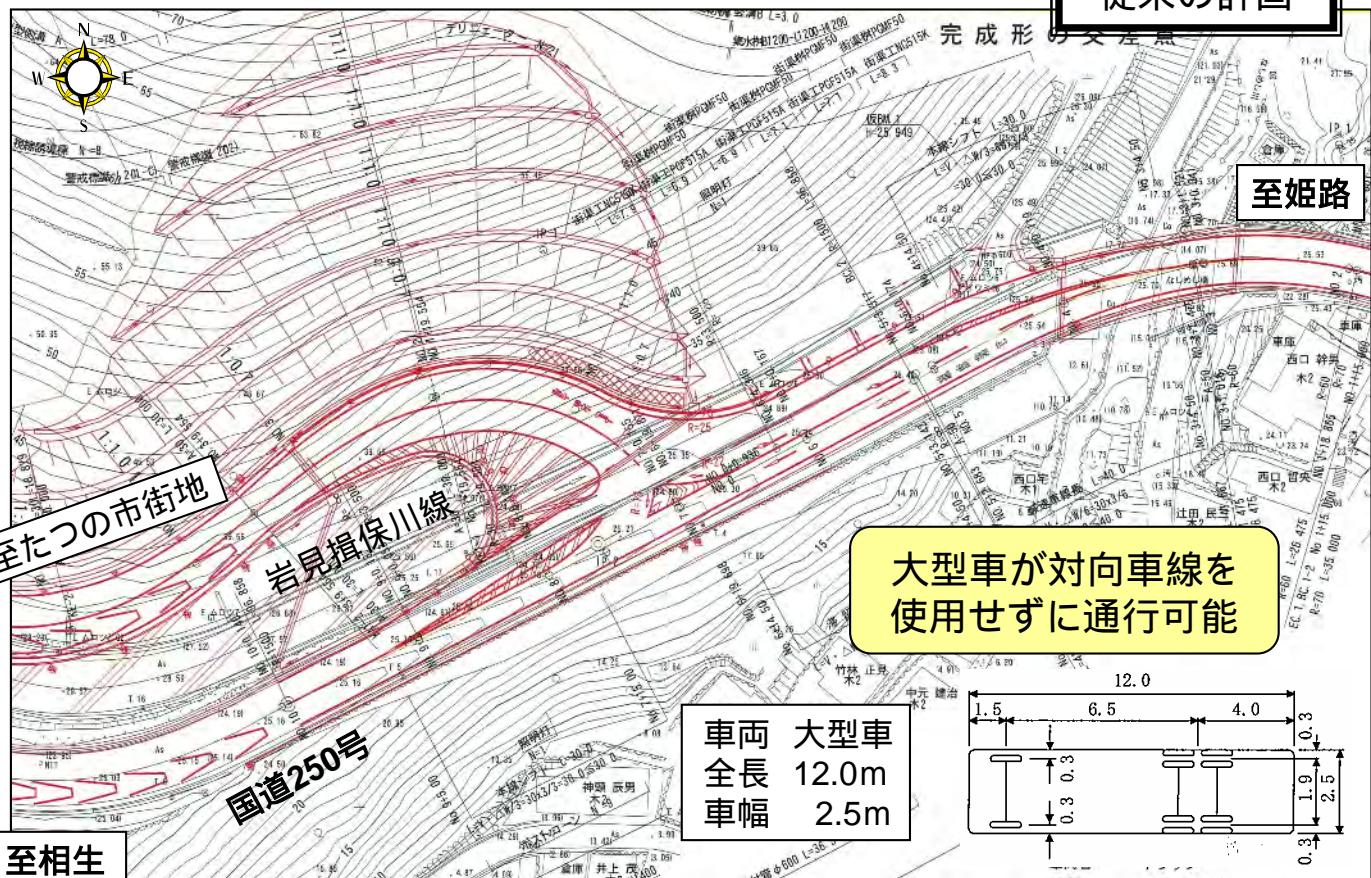
車両	乗用車
全長	4.7m
車幅	1.7m
最小回転半径	6m



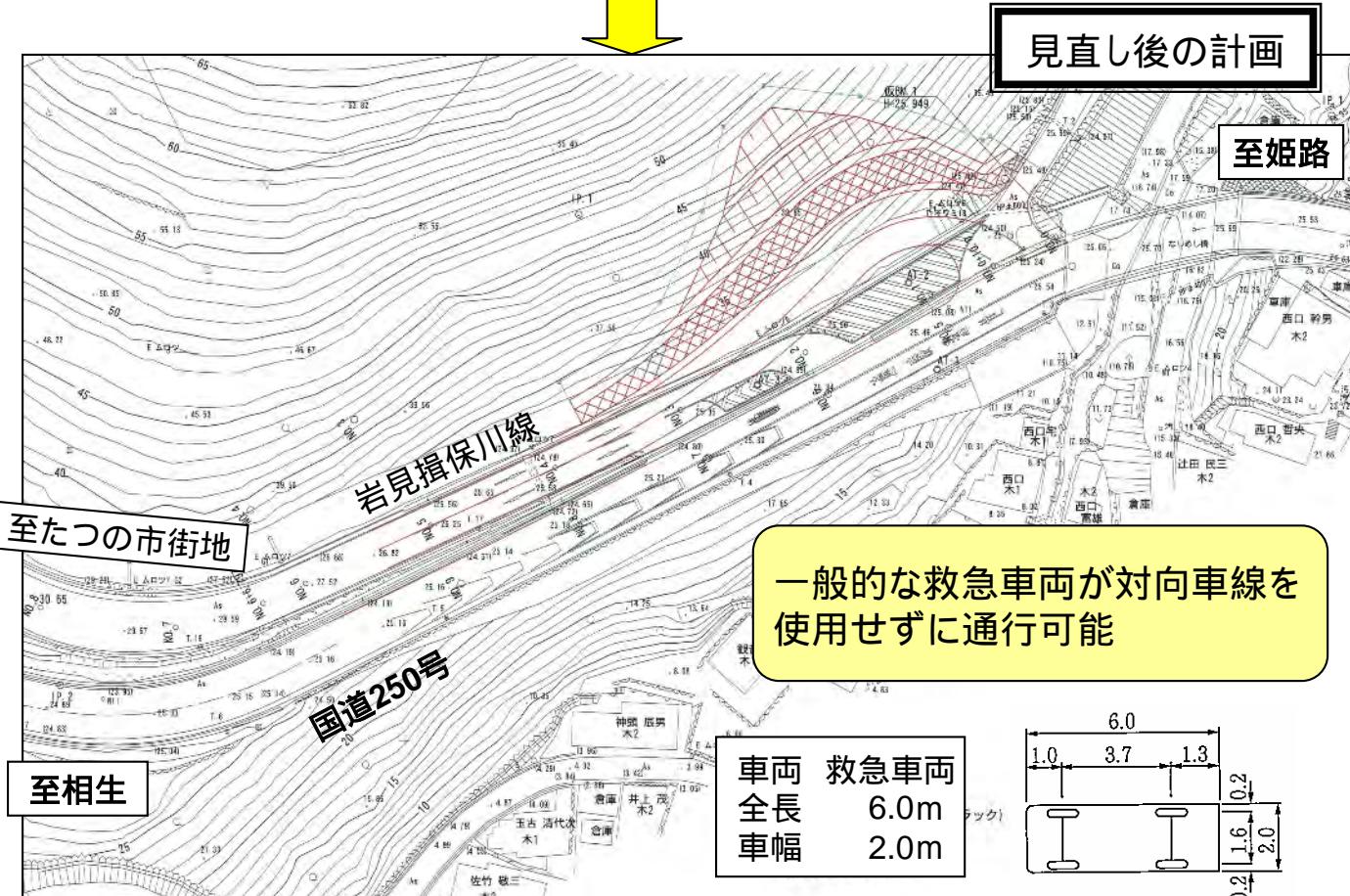
交差点部の線形が悪く、乗用車でも対向車線にはみ出さないと曲がることができない

計画の見直し内容

従来の計画



見直し後の計画



【見直し内容】

周辺道路の整備状況等を踏まえ、対象車両を「大型車」から「一般的な救急車両」に変更
交差点位置を東側に移動させることにより、切土法面を大幅に削減(7段→3段)
国道の付加車線を廃止し、影響範囲を最小限にする

事業の必要性(産業・観光)



・室津漁港や道の駅みつなど産業拠点・観光拠点への
アクセス道路としての機能を強化する。